

# ニホンスモモの自家不和合性に関わる S 遺伝子の 解明

別府賢治

農学部准教授 博士（農学）

専門分野 果樹園芸学



ニホンスモモは S 遺伝子による自家不和合性を示すため、結実の確保には S 遺伝子型の異なる授粉樹の混植や授粉作業を必要とする。これまでの研究で、ニホンスモモの S 遺伝子 14 種類を発見し、塩基配列を明らかにした。また、36 品種の S 遺伝子型を特定し、24 種類の S 遺伝子型に分類した。さらに、同一 S 遺伝子型品種間の交配試験により、S 遺伝子による他家不和合性の存在も示した。

これからは、一部に見られる自家和合性の品種について、自家和合性に関わる S 遺伝子を特定するとともに、和合化のメカニズムを解明する。また、自家和合性個体を選抜するための DNA マーカーを作成し、自家和合性品種の育種の効率化を図る。

